

いなさびと

平成28年7月発行
発行者 桑谷 宗久
編集 まちづくり協議会
広報

平成28年度

通常総会開催

4月24日伊那佐地区連合自治会館(旧伊那佐幼稚園)において、通常総会が開催されました。27年度の事業報告・会計報告及び28年度の役員選任・事業計画・収支予算等について活発な意見交換がされ今年度がスタートしました。

特に活動補助金基本分は、伊那佐地区に支給され各部会に8万円ずつ支給させていただきました。今年の活動補助金支援分は、総会資料でご覧いただいたとおり安心して暮らせる地域づくり、移住定住による地域づくり、地域資源の活用による特産品づくりに百万円を限度に支給されることになりました。

活動内容につきましては、各部会で検討をいただいている所で、各部会から出てきた案を6月

末までに市役所に提出し、許可をもらわないとなりません。

こんなことをやってみてはどうご意見がありましたら、各自治会長かまちづくり委員さんにご連絡ください。よろしくお願います。

伊那佐ニュース

◆右近こどもまつり

右近こどもまつりは、昭和43年当時の榛原町で明治百周年事業をすることになり、元伊那佐郵便局長の大門貞夫氏が中心となられ澤城ならびに高山右近の顕彰を行うことになりました。

昭和45年4月26日高山右近碑が多くの方々の寄付により澤の地に建立されました。

高山右近が少年期を伊那佐で過ごしたということから「こども」の健やかな成長を願って「翌46年5月5日、右近こどもまつりが開催されました。

大貝の松本さんの田をおかりして、運動会や物品販売が地元のごども会が中心となり開催され、最大六百人から七百人の方が参加されたと聞いています。

こどもたちの減少に伴い、澤や大貝の有志と奈良県カトリック教会の協力をえて、続けてこられました。

昨年から大和宇陀高山右近の会と奈良県カトリック教会、そして、伊那佐地区まちづくり協議会も地域の活性化のため共催させていただくことになりました。

今年、4月29日伊那佐体育館において右近こどもまつりが開催されました。



高山右近の碑



和気あいあいとパン食い競争♪

今年、伊那佐のごども15人と地域の方々35人も参加いただき、午後の一時をパン食い競争、ペットボトルボーリング、輪投げ、玉入れで楽しみました。伊那佐地区外の方々を含めて三三〇人以上の参加がありました。大貝の有志による炊きだし、山口農園の焼きそば・野菜の即売、ハンサムガーデンの人参ジュースや物品販売、アクティブセンターうだの物品販売など協力いただく方々も年々増加してきました。運動会の補助員として参加いただいた、役員のみなさんありがとうございます。

まちづくり協議会は、伊那佐地区住民だけでなく自治会には参加していないが、活動されている全ての人々を結ぶ組織です。

※なお、ご協力いただいた熊本地
震災援金八千五百円は市役所
を通して被災地に届けさせて
いただきました。ありがとうございます。
いました。

◎参加者の声を聴かせていただ
きました。

Aさん：
最近にない楽しさがあった。右近
こともまつり運動会に、ペットボ
トルボーリングを担当しました。
手作りのレーンが非常に子どもた
ちに興味をもたせたようです。
楽しそうにボールを投げるが、優
しく投げる子、ボールまで直接投
げる子、など工夫して楽しんでく
れたようです。大人は、準備で腰
が痛くなりました。

Bさん：
右近こともまつりに昨年に引き
続き、参加しました。今年は物品
販売だけでなく運動会の種目に
ついてもアクティブセンターう
だで担わせていただきました。み
んなが楽しめるものになるよう
に今後も工夫していきたいと思
います。つぎは、アクティブセン
ターうだまつりでたくさんの方
域の方々とお会いできることを

楽しみにしています。

Cさん：
物品購入だけでなく、作品が利用
者の手作りだとわかると日頃の
活動にも興味を持ってくださり、
事業所内を見学したいとおっし
やる方や、昨年お会いしたこと
覚えていてくださる方もおられ、
つながりをもてたことは何より
有難かったです。普段、家族や事
業所の人以外との出会いや、ふれ
あう時間が少ない利用者にとっ
て、あれほどたくさんの方々と話
し、また、心温かい会話ができる
機会はありませんでした。
それが右近こともまつりに参加
する機会を与えていたことで実
現できました。ありがとうございます。
ました。

Dさん：
どんな方でも楽しめるゲームの
考案に関わらせていただき、あり
がとうございました。当日、たく
さんの子どもたちがゲームして
くれたので、嬉しく思いました。
利用者の方も、販売や体育館での
イベントを通し、思い思いに過
す中で、いろんな交流の場が生ま
れていたように感じました。
.....

最後に一言

多くの外国の方も参加いただき、
伊那佐にいなながら国際交流がで
きたように思います。ありがとうございます。



たくさんの方にご参加いただきました。

◆池上蓮昇寺 花まつり

5月7日、蓮昇寺にて花まつり
(降誕会)が行われました。

朝から地元の子どもたちの手
によりお釈迦様を安置する花御
堂に色とりどりの花が飾り付け
られ綺麗なお堂にお釈迦様をお
まつりして、関正胤住職と子ども
たちは一緒にお釈迦様の誕生を
祝う降誕会の法要を執り行いま
した。



お花できれいに飾り付
けできました。
お釈迦さまもにっこり。

法要では子供達がお釈迦様の
像に甘茶をかけて、誕生をお祝い
すると共に無病息災を祈願しま
した。
元気の良い子どもたちの声が
境内に響き渡ると花御堂にいら
っしゃるお釈迦様もどことなく
にこやかなお顔でした。

◆ 栗谷 ホタルを観る会



6月18日、桜公園前の田んぼを道を進んだ山手の辺りで「ホタルを観る会」が開催されました。

この行事は栗谷の公民館活動の一環として毎年この時期に行われているものです。車のランプの点滅につられて現れるのはヘイケボタル。ホタルのやさしい灯りを鑑賞しながら、おしゃべりしたりお菓子を食べたり参加者は思い思いの時間を過ごします。区長の梶政明さんによると「皆さんが毎年楽しみにしてはるせいか、この行事の日は不思議と雨が降りません」とのこと。栗谷のホタルはお天道様と打ち合わせしているのかもしれないね。



お知らせ

今後の予定をお知らせします。



ラジオ体操を楽しむ会

7月23日(土)

時間 午前6時30分

場所 旧伊那佐小学校

皆さんお誘いあわせの上、奮ってご参加ください。

今年もやります!

『第6回アクティブ祭
伊那佐の文化祭』

日時: 9月11日(日)
10:00~15:00

場所: アクティブセンターうだ
伊那佐体育館

澤城跡について

中世の宇陀地域では、伊勢国司・北畠氏の影響のもと、秋山氏、澤氏、芳野氏が勢力をのびし、三氏は宇陀を代表する勢力となる。秋山氏は秋山城、澤氏は澤城、芳野氏は芳野城とそれぞれが山城とその麓に居館をもっていた。

澤城は、伊那佐山から南東にのびる標高約524mの山頂に築かれた山城である。この城は、伊那佐山から南東にのびる尾根を切った二重堀切から大手口をおさえる郭群までの南北約700m、東西約400mに及ぶもので、東西両端を堀切で遮断された東西約300mの郭群が主要部分となっている。

主要部分の東西には、深い堀切があり、東端は三重の堀切となっている。また、主要部分の中ほどにも堀切が認められ、これを境として東西に郭群をわけることができ、西郭(主郭)群は本丸、二ノ丸等、東郭(副郭)群は出丸、クラカケバなどと呼ばれている。

永禄2年(1559)の松永久秀の大和進攻で、翌年の永禄3年には澤城も占拠され、城主の澤氏は伊賀へ逃れることとなる。そして、この城には、松永配下の高山飛騨守図書・右近親子らが入部する。

この頃の城内の様子を伝える史料としては、ポルトガルの宣教師ルイス=フロイスの『日本史』がある。これによると、城は高い山の上であり、遠くまで眺望でき、城内には、高山図書の妻子や約300人の兵たちが住んだという。また、小さな砦には、長さ20m弱、幅7m余りの教会があり、中には礼拝堂・香部屋・宣教師の宿泊部屋・従者の間などの施設があったという。永禄7年(1564)には、高山右近をはじめ、多くの人々がこの教会で洗礼を受けている。

永禄11年(1568)には、再び澤氏が城主となるが、天正13年(1585)までに廃城となったと推定される。

大和宇陀高山右近の会

伊那佐の里 歳時記

(八月から十一月末まで)

池上

八月末 八朔籠り
九月 敬老の日

石田

七月一日 夏祭り
八月二八日 八朔
一〇月九日 頭屋座
一〇月一六日 秋祭り宵宮

大貝

八月三十一日 八朔・灯籠かけ
九月二五日 金毘羅・愛宕さん
一〇月一五日 お灯渡し・宵宮祭り

栗谷

八月三十一日 籠り
一〇月二二日 宵宮座

澤

八月二四日 地藏盆
八月二八日 八朔
九月一八日 観音祭
一〇月一五日 秋祭り(宵宮座)
一二月二三日 新嘗祭

三宮寺

八月二四日 地藏盆
八月二七日 八朔
一二月三日 秋祭り



高塚

八月二七日 八朔こもり
九月四日 行者会式
九月一日 当歳祝
九月一六日 伊勢講
九月 彼岸
九月二五日 七塚参り
一〇月五日 庚申
一〇月一〇日 日待ち・お渡り
一二月三日 八咫鳥神社第五次
御造営奉告祭

比布

八月二一日 地藏盆・文化祭
八月二八日 風籠り
九月四日 大日会式
九月二五日 結岸
一〇月三〇日 秋祭り祭典(宮座)

福西

母里

八月六日 庚申講
八月三十一日 風日待ち
九月 従三公(北畠親房)参拝
一〇月五日 庚申講
一〇月一七日 伊勢講(神嘗祭)
一二月二日 秋季例祭

山路

八月二八日 お不動さん
八月二一日 地藏盆
九月四日 八朔
一〇月一〇日 秋の大祭
一二月一三日 亥の子

【編集後記】

ますようお願いいたします。



広報誌の発行が大変遅くなり
申し訳ありません。

一年近く休刊していましたが、
本年度は年三回をめどに発行し
ていく予定です。ご希望などあり
ましたら、栗谷までご連絡くださ
い。(02-2048)

本年度より広報部に新しいメ
ンバーがひとり増えました。

昨年度までのメンバーに変更
ありませんが、本年度は、部会内
で連絡取りあい、情報を共有しつ
つ、それぞれの特性を活かして、
無理のない編集活動を実践して
いきたいと考えております。

ご指導ご鞭撻のほど何卒よろ
しくお願いいたします。

※各行事の詳細はそれぞれの大字
にお住まいの方にお尋ねください

